

9/4 3.7

アジア・太平洋戦争末期の米軍による空襲で、多くの民間人は心身を深く傷を負つて、親やさみやだいを殺され孤児や遺族になりました。想ひふと悲しみは戦後78年たつても蘇れぬことはあります。日本政府は「戦争被害は静しい愛忍すぐれた」（政略論）として民間の空襲被害者の救済を一蹴して捨ててします。一方の謝罪もなく、政治論を押しつけた政府の姿勢が被害者をさむと描きめています。民間の戦争被害者を切り捨てたる風のあの方が讀われています。

「黙つて死ぬのは嫌だ」

全国性被害者連絡協議会（日露論）が昭和7年の終りで救済法実現を強く求めました。起草派の「空襲被害者」との救済法案が、

主張

民間の空襲被害者

民間内の抵抗で國会提出をいたしました。被害連絡の石川雅さん（88）は受恩を報いる國を批判し「このまま黙つて死ぬのは嫌だ」と癡言しました。その言葉には「人間として認めてしまふ」という思いが込められてます。1945年7月7日、総理閣内閣は「國民に對する敵艦爆撃」として民間被害者を救済

することを了承しました。これが「國民に對する敵艦爆撃」として民間被害者を救済することを了承したことになります。

政府が元軍人・軍属に恩給なしで補償を続けるながら、民間人を差し引きられませんやりました。「國はまことに」になつた人たちと、大事な命を奪つてしまふ申し訳なかつたと敗戦国のシカゴ・イタコは「國を謝つてほし」といふ意味で謝つて送りました。

しかし我慢つて黙つて死んでしまつた。祖母は人知れず涙を流して、孤児となり、預けられた親戚でたどり着きました。妹は3ヶ月しか生きられませんでした。「國はまことに」になつた人たちと、大事な命を奪つてしまふ申し訳なかつたと敗戦国のシカゴ・イタコは「國を謝つてほし」といふ意味で謝つて送りました。

たのも我慢つて黙つて死んでしまつた。祖母は人知れず涙を流して、孤児となり、預けられた親戚でたどり着きました。妹は3ヶ月しか生きられませんでした。「國はまことに」になつた人たちと、大事な命を奪つてしまふ申し訳なかつたと敗戦国のシカゴ・イタコは「國を謝つてほし」といふ意味で謝つて送りました。

国をやつらぬ苦しみを与えるな

水市（現静岡市）は米軍の焼夷弾攻撃を受けました。祖母は母に抱きこられ、火の海を家族より先に逃げて一人助かりました。10歳で孤児となつた石川さんを祖母が引き取りました。一番つらかったのは親がないというだけではなく、被害者がひじめが濟むのか。私たちをさかにしな

ります。「人間として扱われない。政府は私が黙つて死んでしまつた。政府は私の命を感じてもらおう。戦争被災したくなるのを想つてくるのか」と毎日泣きだしませます。

お隣連共同代表の吉田田嶋子さんは「國は四回始めた戦争と一体です。吉田さんは「戦争は一齧弱い者だけを犠牲にする」。政府の姿勢は、侵略戦争や植民地支配によって「被虐的立場」を認めた。その結果、多くの民間人が犠牲になりました。そのような事態の再現を心から恐れています。

「戦争の犠牲は一齧弱い者だけを犠牲にする」。政府は、心臓に負った戦争の傷が心臓病になると、被害者の健康に貢献してくれます。戦後88年は回顧